

島田勲 敗戦直前に前任者逃亡で空白となった沖縄県知事となり、県民のため尽力するも、総攻撃受けて戦死。

しまだあきら

田中正造直訴1901 = 兵庫県で生まれる。

日露戦争終・1905 = 4歳：

韓国併合・・・1910 = **9歳**：

明治天皇没・1912 = 11歳：

第一次大戦始1914 = 13歳：西須磨尋常小学校を卒業して、県立神戸第二中学校に進み、

第一次大戦終・1918 = **18歳**：卒業。第三高等学校文科丙類に入学し、

原敬首相暗殺1921 = 20歳：

水平社結成・1922 = 21歳：卒業。東京帝国大学に入学し、

治安維持法・1925 = 24歳：法学部政治学科を卒業するとともに、**内務省に入り、徳島県属となり、高等試験にも合格。**

共産党事件・1928 = **27歳**：地方警視から、徳島県保安課長となり、

世界恐慌・・・1929 = 28歳：岡山県保安課長、

満州事変・・・1931 = 30歳：三重県警務課長、

五一五事件・1932 = 31歳：長崎県警務課長、

帝人疑獄事件1934 = 33歳：福岡県警務課長を経て、

日中戦争始・1937 = **36歳**：地方事務官となって、大阪土木部総務課長、

健保+総動員 1938 = 37歳：佐賀県書記官補警察部長、

日米開戦・・・1941 = 40歳：

年金+総武装 1944 = 43歳：**大阪府内政部長となったが、**

敗戦・・・1945 = 44歳：***沖縄県にアメリカ軍の上陸必至と見られるなか、前任の知事が出張名目に上京して戻らず、内務省に要請され、沖縄県知事として現地に赴任。守備軍と折衝して婦女子の県外疎開を図り、自ら台湾に飛んで県民の食糧確保に全力を尽くし、アメリカ軍上陸後は、地下壕内で戦時行政に当たったが、本島南部で戦死した。**